



へきけんニュース

平成27年6月11日発行 第49号

☎0154-44-3291 FAX0154-44-3292

ホームページ

<http://hekiken.kus.hokkyodai.ac.jp/>

電子メールアドレス

kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp

＜目次＞

- ◆ へき地教育研究支援部門 部門長挨拶
- ◆ 平成27年度「へき地教育研究計画」募集
- ◆ へき地校体験実習協力校一覧
- ◆ HATOプロジェクト(へき地)の進捗状況

4月1日より、へき地教育研究支援部門の部門長を拝命いたしました釧路校の川前あゆみと申します。前任の八木部門長の後を引き継ぎ、これまで蓄積されてきたへき地教育研究をより充実したものになるように努めていますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、へき研(通称)の業務には、中心的な事業として位置づいている「へき地校体験実習」の推進があります。平成27年度は、全道25市町村実習協力校57校、受講生は札幌校・旭川校・釧路校の合計126名が受講します。

また、へき研では、平成25年2月から平成28年3月までHATO(へき地・小規模校教育)プロジェクトの研究推進も兼ねております。そのため、HATO連携大学の愛知教育大学、東京学芸大学、大阪教育大学のプロジェクトメンバーとも連携しながら、へき地・小規模校教育に関する研究やフォーラム、学生の実習成果交流を開催してきました。今年是最終年度の節目を迎えます。現在、平成28年3月に釧路市にてへき地・小規模校教育に関するフォーラムを開催する予定です。さらに、学生のへき地・小規模校教育に関する指導用教材開発として、『複式学級における学習指導の手引』改訂版の作成、複式授業(社会科:高学年)のDVD収録も予定しています。

これらの事業は、北海道立教育研究所をはじめとして、北海道へき地・複式教育研究連盟、道内各管内のへき地複式教育研究連盟との連携を図り推進しているところです。へき地地域にある小規模校での実習を経験しながら、卒業後に小さな学校で意欲的に子どもや地域と向き合える教員となるような教員養成を目指しています。多くの先生方にへき研業務に携わっていただく機会がありますが、どうぞよろしくお願いたします。

1. 平成27年度「へき地教育研究計画」を募集します

へき地教育研究支援部門の事業費による「へき地教育研究計画」を、以下のように募集します。

① 研究計画の申請

- * 研究課題は、右の3つの領域に属するものとします。
- * 研究計画書の請求は、へき研事務室(釧路校B109教室 内線54-291)までお問い合わせください。なお、計画書の様式は、部門のホームページからダウンロードが可能です。
- * 研究計画書には、研究目的・内容を具体的に記入して下さい。また、「へき地・小規模校教育の発展に資する本研究の意義」を明記してください。
- * 経費の項目は、「備品・消耗品・旅費・その他」です。
- * 申請額の上限は、15万円の予定です。
- * 研究計画書(1部)は、**7月3日(金)正午までに**、へき研事務室に提出もしくはメール送信してください。

② 研究計画の採否

- * 7月中旬を目処に決定します。応募が多い場合には予算減額もしくは採択件数を調整する場合があります。

③ 研究成果の提出

- * 研究成果は、次年度の紀要『へき地教育研究』第71号に投稿することになります。原稿の締め切りは、**平成28年6月末日**です。

研究課題

- ・ へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ・ へき地・小規模校教育に関する実践研究(実践報告を含む)
- ・ へき地・小規模校教育にかかわる地域研究

次ページに研究テーマを例示しています。

研究計画の申請にあたり、投稿原稿は、へき地・小規模校教育に係る研究論文（学術論文としての規模を有するもの）、研究ノート、その他研究活動に関するものとします。

研究論文、研究ノートは、次の3つの領域に属するものとし、①②③の各領域の関連については例示を参考にしてください。

- ①へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ②へき地・小規模校教育に関する実践研究（実践報告を含む）
- ③へき地・小規模校教育にかかわる地域研究

《テーマの例示》

- ◇学習指導・複式指導・少人数学級経営・生徒指導に関する領域
 - ・へき地の社会性を伸ばす学級経営
 - ・へき地の複式学習指導
 - ・へき地の生徒指導
 - ・へき地の教科教育内容
 - ・へき地の少人数指導・特別支援教育
 - ・へき地のICTを活かした教育活動
- ◇学校運営・地域連携に関する領域
 - ・へき地の学校運営
 - ・へき地の学校・地域連携における教育活動
 - ・へき地の体力向上を目指した活動
- ◇特別活動に関する領域
 - ・へき地の特色ある教育活動
- ◇その他（へき地教育関連分野で編集委員会が認めたもの）

2. 平成27年度 へき地教育研究支援部門メンバー紹介

平成27年5月現在

へき地教育研究支援部門のメンバーは以下のとおりです。よろしくお願ひします。
 （氏名の前に○印のある方は新規センター員です）

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
センター長	城後 豊	理事	センター員	○越川 茂樹	釧路校
部門長	川前 あゆみ	釧路校		戸田 竜也	釧路校
センター員	前田 賢次	札幌校		中川 雅仁	釧路校
	阿部 二郎	函館校		○長谷 博文	釧路校
	北村 博幸	函館校		廣田 健	釧路校
	渥美 伸彦	旭川校		○森 健一郎	釧路校
	小出 高義	旭川校	へき地教育 アドバイザー	梅木登喜雄	札幌校
	小谷 克彦	旭川校	へき地教育 アドバイザー	宮武 一典	旭川校
	坂井 誠亮	旭川校	へき地教育 アドバイザー	松野 孝	釧路校
	○芳賀 均	旭川校	事務局	川瀧 将之	総務部総務課 広報・地域連携G
	水上 丈実	旭川校	事務局	長谷川 美緒	釧路校室 総務G

3. HATOプロジェクト(へき地)の進捗状況について

※ H:北海道教育大学 A:愛知教育大学 T:東京学芸大学 O:大阪教育大学

へき研では、本学のHATOプロジェクト採択により、「へき地・小規模校教育に関するプロジェクト」を担っており、最終年度は以下の事業計画を予定しています。最終頁のポンチ絵がプロジェクト全体の構想です。

(1) HATO連携大学への“出前授業”

HATO連携大学との研究交流の一環として、今年度も各大学に「へき地・小規模校教育」に関する“出前授業”を開講し、各大学で学ぶ学生・大学院生とへき地・小規模校の実際について理解を深めてもらう機会となっています。

今年は、すでに7月21日に大阪教育大学で開催することが決まっています。後期は、愛知教育大学、東京学芸大学で開催する予定です。

(2) へき地・小規模校教育に関するフォーラムの開催

平成28年2月下旬もしくは3月上旬に釧路市にて開催予定です。参加大学には、HATO連携大学の愛知教育大学、東京学芸大学、大阪教育大学のほか、本学と同様にへき地・複式教育実習を行っている和歌山大学にも参加いただく予定です。



HATO連携4大学フォーラム
開催時の様子(平成26年度)

(3) 研究に関する進捗状況

①「複式学級における学習指導の手引」の改訂版の作成

へき地教育に関する学生の指導書作成にあたっては、札幌・旭川・釧路キャンパスのへき地教育アドバイザーの先生方や北海道立教育研究所の企画・研修部にもご協力いただき編集作業を進めています。平成26年3月に刊行した初版をさらに充実させ大学HPからダウンロードできることを目指します。

②複式授業の映像資料(DVD収録)の作成

上川管内中富良野町立西中小学校にて11月下旬に、複式授業(社会・高学年)の撮影が決まりました。年度末にかけて撮影記録を編集する予定です。次年度以降、大学内の関連講義や、へき地校体験実習の事前指導等で活用していきます。

4. 平成27年度「へき校体験実習」実習協力校一覧

平成27年度は、全道25市町村実習協力校は57校、受講生は札幌校・旭川校・釧路校の合計126名が受講します。関係の先生方には、巡回指導等でへき地小規模校に訪問いただく機会もありますが、学生指導等どうぞよろしくお願いいたします。



平成27年度 実習協力校 27市町村 57校 実習生合計126名

橙字は夏期 15校
札幌校2・4年生対象

緑字は夏期 21校
旭川校2・4年生対象

ピンク字は夏期 8校
釧路校2年生対象

青字は秋期 13校
釧路校3・4年生対象